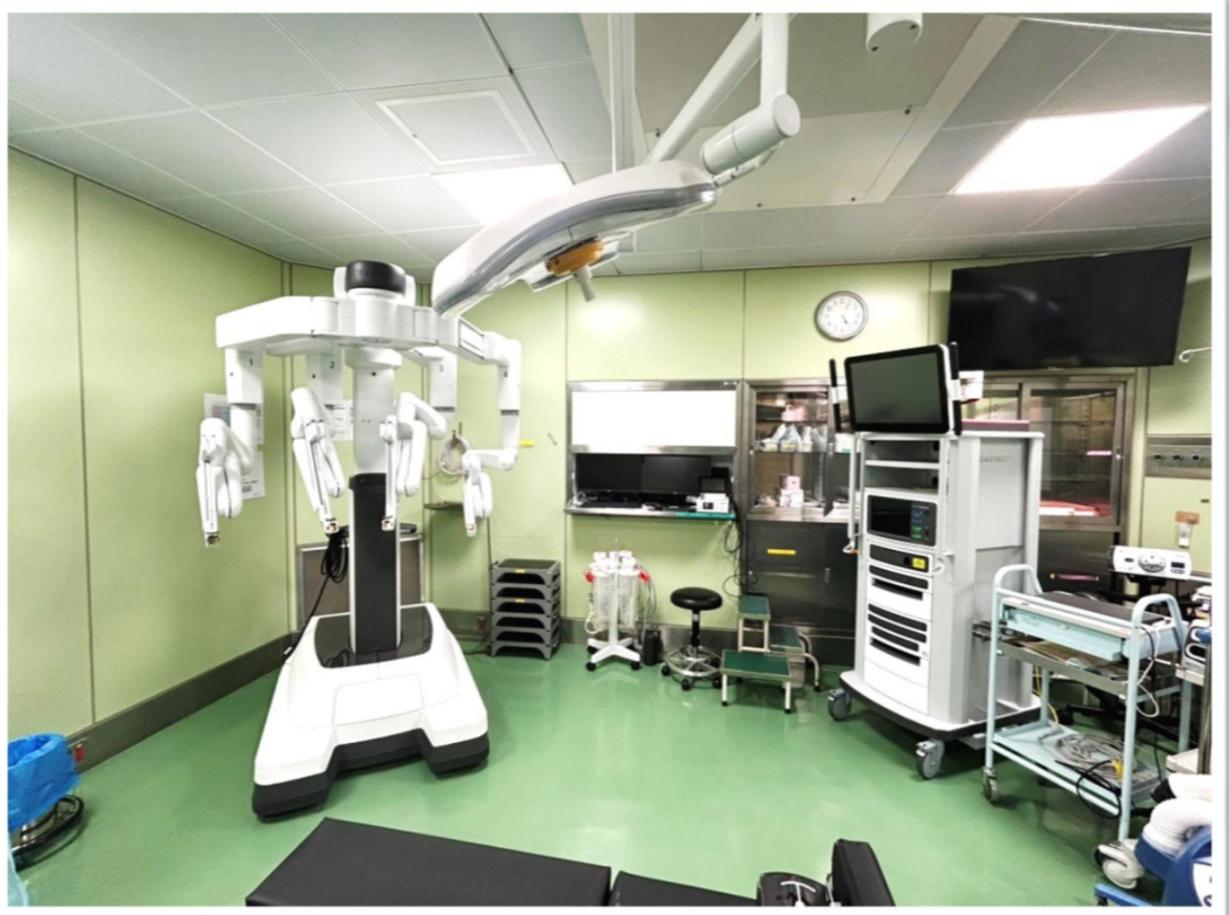


電車どおり



手術室に設置された
Da Vinciの表紙



ホームページ
はこちら



もくじ

- 1. 手術支援ロボット「Da Vinci」導入 …… 2p
- 2. 心理検査ってどんなもの？
子どもを中心に考える視点から …… 3p
- 3. 健康管理センターからのお知らせ
～各種健診 Web申し込み24時間受付中～ …… 4p

手術支援ロボット「Da Vinci」は、レオナルド・ダ・ヴィンチにちなんで名づけられました。ルネサンス期の芸術家として広く知られている彼ですが、人体解剖学も大きく発展させたようです。機械工学にも強い関心を持ち、1495年頃には、「レオナルドのロボット」と呼ばれる、初期の人型自動機械を設計したそうです。



基本方針

- 道南の基幹病院として急性期医療に取り組みます。
- 断らない救急医療を実践し、住民の信頼と期待に応えます。
- 総合周産期母子医療センター及び北海道がん診療連携指定病院として高度で専門的な医療を提供します。
- 「患者さまの権利」を尊重し、安心して安全なチーム医療を実践します。
- 医療環境の発展と充実のため、地域の行政・医療機関との連携を強化します。
- ワークライフバランスに配慮した職場環境づくりと人材育成に力を入れます。

【患者さまの権利】

- ・安全で良質な医療を平等に受ける権利
- ・自らが受けている医療について、十分な説明を受け、知る権利
- ・セカンドオピニオンを求める権利
- ・自らが受ける医療に参加し自己決定する権利
- ・個人のプライバシーが守られる権利
- ・個人として常にその人格、価値観が尊重される権利

【患者さまの義務】

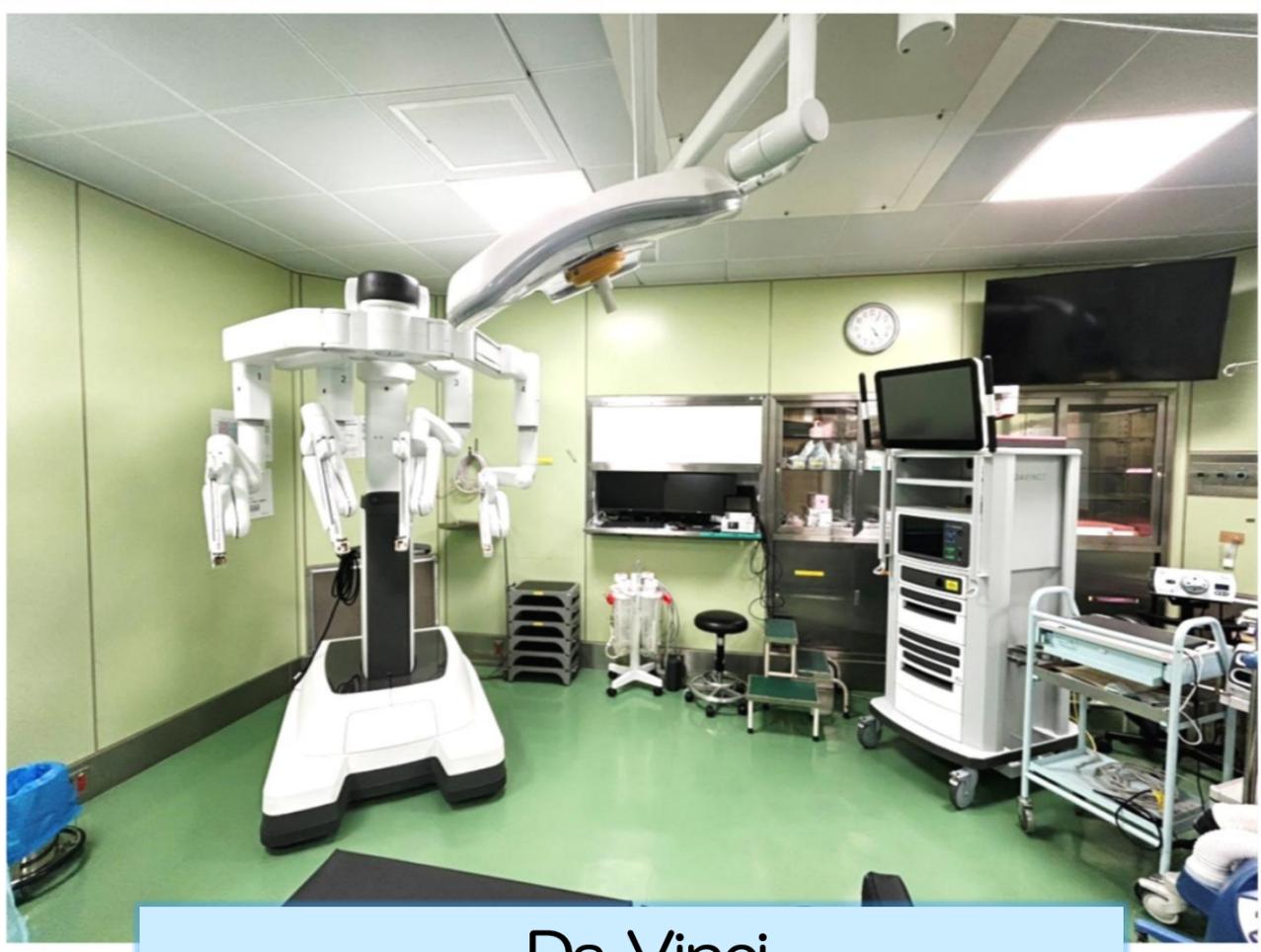
- ・自らの健康状態を医療者にできるだけ正確に知らせる義務
- ・医療者の説明や自らの疾病状態の理解に努める義務
- ・病院の規則や医療者の指示に従い、医療に参加・協力する義務
- ・他の患者さまの治療や医療者の業務に支障をきたさない義務
- ・受けた診療に対し、医療費を支払う義務

1. 手術支援ロボット「Da Vinci」導入

写真のロボットは、手術支援ロボットの「Da Vinci (ダ・ヴィンチ)」です。当院でも、昨年の12月に導入が完了しました。

このロボットでは、手術部位を鮮明な3D映像で見ることができ、手ブレを補正し、狭い場所でも自由な角度で器具を動かします。そのため、より正確で安定した手術ができ、体への負担を減らすことが期待されています。ロボットを使った手術では、出血が少なく、傷口も小さくできることが多いため、回復が早いのが特徴です。患者さんの痛みや入院期間を少なくすることにもつながります。

現在は主に泌尿器科や外科の手術で活用しており、今後は婦人科の手術にも対応を予定しています。手術を検討されている方は、ぜひ治療の選択肢の一つとして当院にご相談ください。



Da Vinci



操作器



操作モニター

2. 心理検査ってどんなもの？ 子どもを中心に考える視点から



こども子育て支援室
臨床心理士(公認心理師)
村梶 夏希

子どもに行う心理検査には、知能検査や発達検査など、子どもの発達や得意・不得意の特徴を知るためのさまざまな方法があります。「検査」と聞くと、血液検査やレントゲンのようなものを思い浮かべる方もいるかもしれませんが、子どもの心理検査は少し違い、子どもが検査者と一対一でやりとりをしながら進められるものです。特に小さな子どもの場合、クイズやパズルのように遊びに近い感覚で取り組めることもあります。

検査ではまず、子どもが安心できるようにラポール（信頼関係）を築くことが大切です。初めて会う大人と向き合うのは、どの子にとっても緊張するものです。検査者が「これからこんな流れで進むよ」と事前に見通しを伝え、子どもが状況を理解しやすいように説明することで、「ここなら大丈夫」と感じられる環境を整えていきます。こうした安心感が、子どもが力を発揮するための第一歩になります。

心理検査は子どもに負担がかかりすぎないように工夫されていますが、普段とは違う環境で過ごすこと自体が疲れや不安につながることもあります。保育園や学校のあとでは集中が続かない場合もあるため、あらかじめ休息を十分にとったり、落ち着いて取り組める時間帯を選んだりする配慮があると、子どもがもつ力をより自然に発揮しやすくなります。

検査の結果として、IQ（知能指数）や発達年齢といった数値が示されることがありますが、これらは子どもを評価するための「レッテル」ではありません。むしろ、その子に合ったサポートの方向性を考えるための手がかりとして活用されるものです。大切なのは数値そのものではなく、「この子がより安心して過ごすには何が必要か」を考える姿勢です。

心理検査は、子どものもつ力を深く理解し、よりよい環境や支援につなげるための入口です。子どもが今困っていることや心配なこと、サポートのために知りたいことをふまえ、検査の目的や必要性を専門機関と相談しながら進めていくことが大切です。

※今月号の背景：梅（ロイヤリティフリー pixabay より）

健康管理センターからのお知らせ

【脳ドック・人間ドック、各種健診】 Web申し込み
申し込みはスマホでWebから！ (24時間受付)



《オススメ検査のご案内！》

脳の健康診断 忘れていませんか？

脳ドック受診(MRI機器)で早期発見ができる脳疾患

脳梗塞

脳出血

脳萎縮

脳腫瘍

脳動脈瘤

など

<こんな方におすすめ！>

- 40歳以上
- 近親者に脳卒中の方がいる方
- 肥満の方
- 高血圧・脂質異常症・糖尿病の治療をしている方
- 過度の飲酒習慣の方
- 喫煙している方
- 2~3年間脳ドックを受けていない方
- 日頃からストレスを感じている方
- 脂っこい味付けや、濃い食べ物が好きな方

脳ドックについての確認事項 《※必ずご確認ください。》

下に該当する方は、検査を受けられない場合があります。

- ① 心臓ペースメーカーを使用している方
- ② 人工内耳を使用している方
- ③ 脳神経外科にて治療歴がある、経過観察中、治療中の方
- ④ 体重が130kg 以上の方
- ⑤ 妊娠の可能性がある方または妊娠14週以内の方
- ⑥ 閉所恐怖症の方

人間ドック、各種健診 実施しています！

日々の健康管理に是非当院健康管理センターをご利用ください！
各市町村のがん検診や、企業の健診にも対応しております！

当院の健診の詳細内容はコチラから確認！



《お問い合わせ》健康管理センター

☎ : 0138-52-1231(内線:2274) ✉ : kenkan@hakochu-hp.gr.jp